

令和3年度 AIいちご生産イノベーションモデル創出事業 定期レポート vol.1 (2021年11月号)

新品種「とちあいか」の栽培にAIを導入



「とちあいかAIコンソーシアム」参画メンバー

- 栃木県
- はが野農業協同組合（JAはが野）
- 全国農業協同組合連合会栃木県本部（JA全農とちぎ）
- 株式会社ブルーフィールド
- 真岡市
- 上野孝明（今年度新メンバー）
- PwCあらた有限責任監査法人

いよいよ事業の2年目がスタート！

9月30日に事業2年目のキックオフミーティングが開催され、以下について議論がなされました。

◆令和3年度事業のスケジュール

- 11月 第1回意見交換会：
栽培高度化に向けた指標の選定
- 1月 第2回意見交換会：
収量予測、栽培管理ツール検討
- 2月 第3回意見交換会：
システム構成の整理

【指標の選定（例）】

温度、CO₂、日射量、積算温度
葉面積、花数、果実数 等

【栽培管理ツールのイメージ】

時間帯ごとの理想温度やCO₂
などをガイドするツール

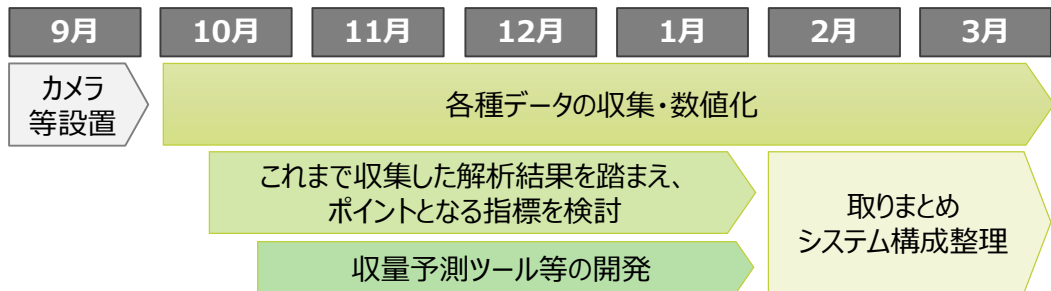
【システム構成の整理】

データ収集からAIによる解析、
結果の反映までの流れを整理

◆これまでの成果

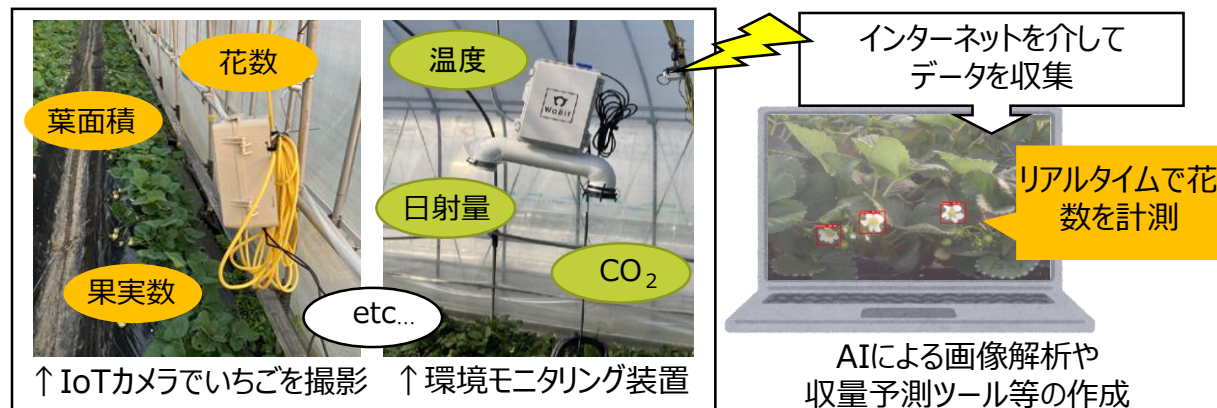
- 圃場ごとの収量、生育、環境情報などの詳細なデータが得られた
- カメラ画像の花、果実等をAIが識別できるようになった

今年度のスケジュール



圃場でのデータ収集と解析

真岡市内3カ所の圃場でIoTカメラや環境モニタリング装置を使ったデータ収集を開始しました。データはインターネットを介して随時収集し、解析を行います。



生産者より、2年目に期待すること

とちあいかAIコンソーシアムに参画されている生産者のおふたりに、本事業に期待することをお聞きました。

川村 肇氏

本格的にデータの収集・解析をすることにより、AIがどう判断して導いてくれるのか、また自分の勘や経験で判断していたものとの違いを知りたいので期待しています。



上野 孝明氏

今回の取組を通してとちあいかの栽培の指標となる数値を示せればと思います。より作りやすく所得増大になれば農業の魅力が上がると思います。



今後の展開に
ぜひご期待
ください！